

ご使用に際して、この説明書を必ずお読み下さい。
また必要なときに読めるよう大切に保存して下さい。

第2類医薬品

892

八味地黄丸〔東洋〕



使用上の注意

漢方薬は原則として随証的方法と云って体質や病状などを参考に使用します。
しかし、正しく判断することは漢方に慣れていないと非常に難しいものです。
そこで医師、薬剤師又は登録販売者とよく相談して薬を正しく使用して下さい。

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなる。)

1. 次の人は服用しないで下さい。

- (1) 胃腸の弱い人。
- (2) 下痢しやすい人。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) のぼせが強く赤ら顔で体力の充実している人。
- (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

*2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、腹痛
その他	動悸、のぼせ、口唇・舌のしびれ

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【効能・効果】 次のような症状に有効です。

体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿で、ときに口渇があるものの次の諸症：

下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、かゆみ、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善(肩こり、頭重、耳鳴り)、軽い尿漏れ

【用法・用量】

下記の量を食前又は食間に水又はぬるま湯と一緒に服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人 (15歳以上)	9丸	3回
7歳以上 15歳未満	6丸	3回

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

**【成分・分量】

八味地黄丸〔東洋〕は漢方処方に従って生薬を粉末とし、結合剤にハチミツを使い、丸剤としたものです。

本品27丸(1丸:250mg)中

日局ジオウ	151.2mg	日局ボタンピ	56.7mg
日局サンシュユ	75.6mg	日局ケイヒ	18.9mg
日局サンヤク	75.6mg	ホウブシ	18.9mg
日局タクシャ	56.7mg	日局ハチミツ	164.7mg
日局ブクリョウ	56.7mg		

添加物としてラッカセイ油、ミツロウを含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わる)

【お問い合わせ先】

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・販売店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

製造販売元 株式会社 東洋薬行 お客様相談係
受付時間: 午前9:00～午後5:00(土、日、祝日を除く)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-19-7
電話(03)3813-2263 FAX(03)3813-0202

株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷6-19-7